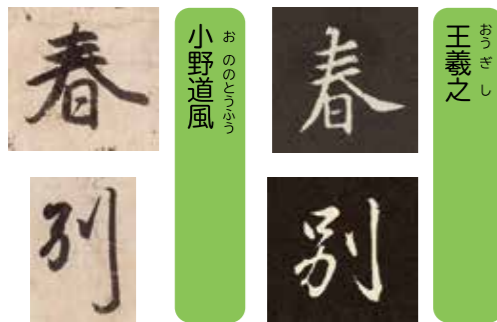


「和様の書」って?



小野道風

王羲之

右は小野道風が手本にした中国の書聖・王羲之の字。左が道風の字だよ。道風は、王羲之の字の角ばったところを丸くしたりして、やわらかい感じに書いたんだ。日本独特の書風で、これをみんなが和様の書と呼ぶようになったんだよ。



小野道風ってどんな人?

小野道風は、平安時代中期(894年)に現在の春日井市で生まれました。父に連れられ、10歳のころ京に上ったとされています。12歳の時天



小野道風肖像画 観音寺所蔵

皇が道風の父に「お前の子どもは字が上手だと聞いている。このうちわに字を書かせなさい。」と命じました。道風の字を見た天皇は、そのうまさに驚き、感動して涙を流したといわれています。天皇に書の腕前を認められた道風は、天皇の手紙の清書などを担当しました。日本では一番字が上手だといわれ、73歳で亡くなるまで、ずっと天皇に仕えた、たぐさんの素晴らしい字を書きました。道風は中国の書を学び、「和様の書(日本風の書)」をつくり出しました。藤原佐理、藤原行成とともに「三跡」と呼ばれ、その後の書道に大きな影響を与えました。

柳とカエルの話

小野道風が傘を差して歩いてると、垂れた柳の葉に懸命に飛び付くとしていたカエルがいました。道風は「届くわけがない」と思っていて見えていたそうです。しかし、カエルは見事、葉に飛び付くことができました。道風はそれを見て、限界と思っていることも努力次第で乗り越えられると悟り、素晴らしい書を書いたといわれています。皆さんも、限界だと思って諦めていることはありませんか? 道風のように努力を続ければ、きっと乗り越えられるはずです。

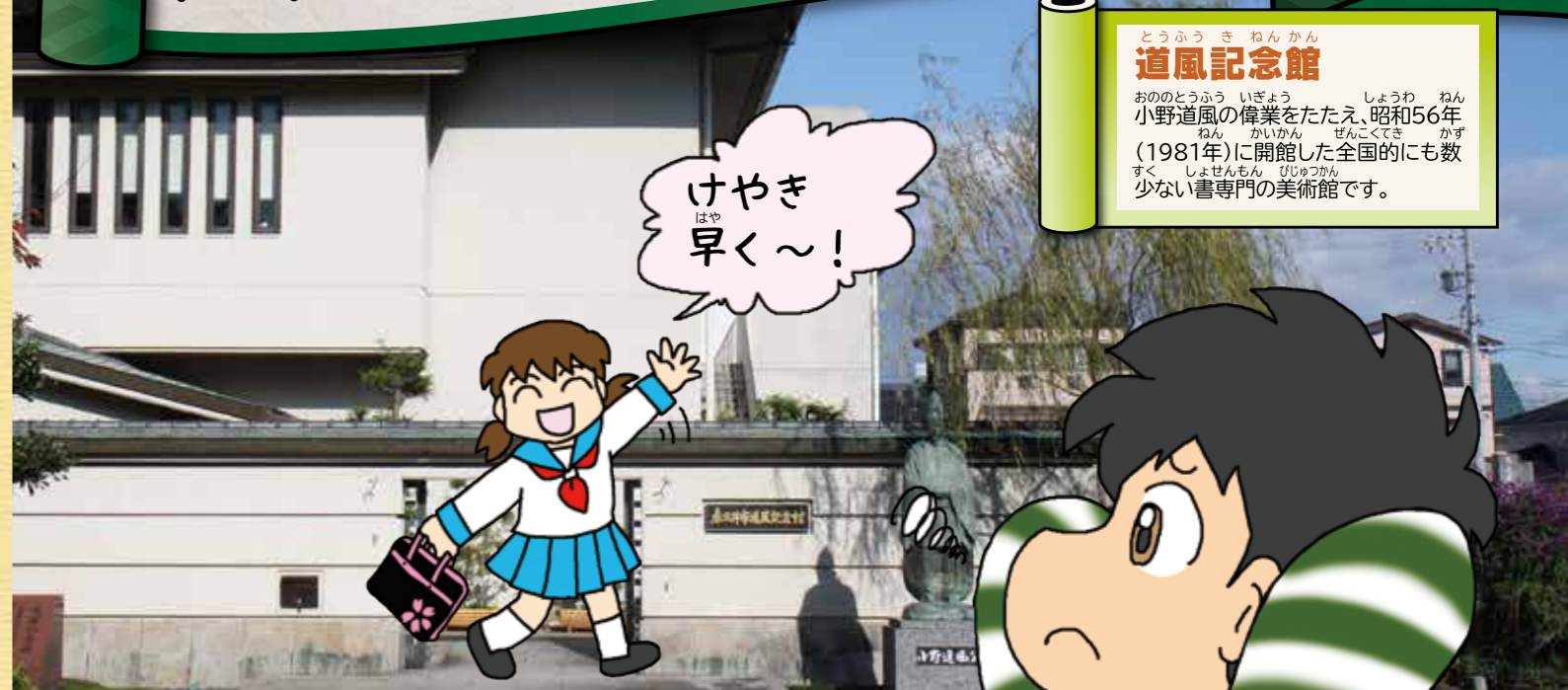


道風はカエルから努力の大切さを学んだんだね!

「書のまち春日井」を知ろう!

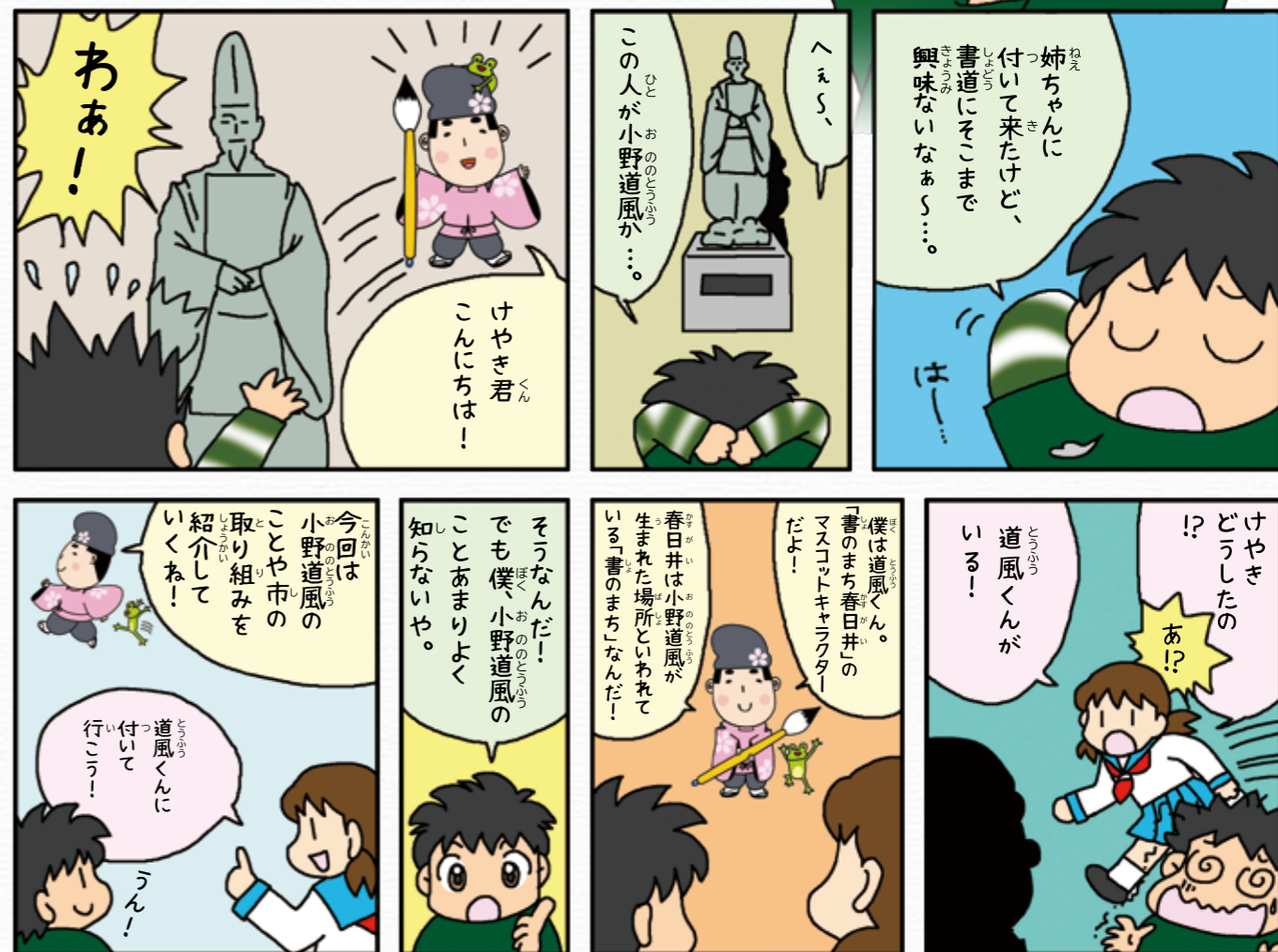
道風記念館

小野道風の偉業をたたえ、昭和56年(1981年)に開館した全国的にも数少ない書専門の美術館です。



さくら (中学3年生)

けやき (小学4年生)



# こんなにあるぞ! 「書のまち春日井」の取り組み

## 書道科のある小学校が増えました

春日井市では、小学校で「書」に親しんでもらえるよう、これまでの書写に加え、書道科の授業を導入しています。今年、2校から20校になりました。



楽しそうだね!

## 県下児童・生徒席上揮毫大会

小野小学校で毎年秋に開催されている「県下児童・生徒席上揮毫大会」。昭和11年(1936年)から続くこの大会は、戦争中も開催され、今回で80回を迎えました。県内の小中学校から各学年2人が選ばれ、学年ごとに与えられた課題を手本なしで25分間に2枚書き、うまく書けた方を提出します。独特の緊張感の中で、書の腕前を競い合います。優秀作品は、第1回大会のものから全て大事に保管されています。12月15日(火)から20日(日)まで、第1回からの代表作品を文化フォーラム春日井で展示します。



第80回大会(平成27年)



第30回大会(昭和40年)

80年間途切れることなく続いて



みんなの書への情熱が、伝統ある大会に続いたんだね。

みんなもこの特集を見て、けやき君と一緒に書が好きになっくれるとうれしいな!



僕も書道を、もっと勉強して、「書のまち春日井」をみんなに知ってもらおう!



よし...



「書のまち春日井」の魅力が分かってもらえたかな?

こんなにたくさんの方の取り組みをして、知らなかったわ。

## 道風展

小野道風をたたえて昭和24年(1949年)から始まった書の展覧会です。全国で公募された作品が毎年約7000点展示されます。



## あ〜とふるマイタウン

芸術家を学校などへ派遣する「あ〜とふるマイタウン」。11月には玉川小学校で学成り立ちについて学び、漢字のもとになったといわれている「象形文字」をみんなで書きました。



## 書道パフォーマンス

毎年春日井まつりにて開催されている書道パフォーマンス大会「Kasugai ザ 道風」。書と音楽が融合したパフォーマンスは迫力満点です!

